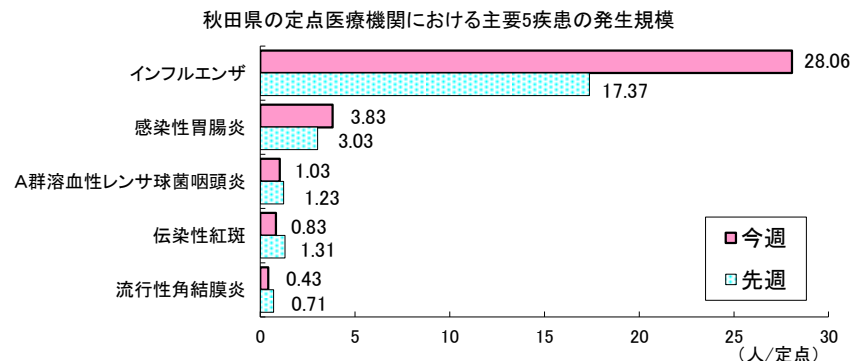




【第3週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. インフルエンザは、県全体で62%増加しています。保健所別では、全ての保健所で増加しています。
2. 感染性胃腸炎は、県全体で26%増加しています。保健所別では、大館、北秋田、能代、秋田中央、由利本荘、大仙で増加、秋田市で同規模、横手、湯沢で減少しています。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で16%減少しています。保健所別では、秋田中央、湯沢で増加、由利本荘で同規模、秋田市、北秋田、大仙、横手で減少しています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢			
	第2週	第3週	増減	第2週	第3週	増減	第2週	第3週	増減	第2週	第3週	増減	第2週	第3週	増減	第2週	第3週	増減	第2週	第3週	増減	第2週	第3週	増減	第2週	第3週	増減				
RSウイルス感染症	0.14	0.06	↘	0.14		↘	0.25		↘				1.00		↘		0.25	↗						0.33	↗						
インフルエンザ	17.37	28.06	↗	24.00	37.73	↗	16.86	35.14	↗	10.00	19.00	↗	17.75	32.00	↗	18.33	25.33	↗	17.67	27.00	↗	13.29	21.00	↗	13.80	24.00	↗	15.40	17.60	↗	
咽頭結膜熱	0.34	0.31	↘	0.43	0.43		0.50		↘										0.50	1.00	↗				0.33	0.33		1.00	0.75	↘	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.23	1.03	↘	2.14	0.86	↘				0.50		↘				3.00	3.75	↗	0.50	0.50		1.25		↘	1.33	0.67	↘	1.00	2.75	↗	
感染性胃腸炎	3.03	3.83	↗	3.14	3.14		0.25	1.00	↗	0.50	6.50	↗	5.67	8.67	↗	4.75	5.75	↗	3.25	5.25	↗	1.50	2.00	↗	3.67	2.67	↘	4.00	2.25	↘	
水痘	0.34	0.14	↘	1.29	0.29	↘							0.33		↘	0.50	0.75	↗													
手足口病		0.26	↗					0.25	↗		3.50	↗		0.33	↗																
伝染性紅斑	1.31	0.83	↘	0.14	0.29	↗	11.25	6.75	↘																						
突発性発しん	0.20	0.29	↗		0.43	↗	0.25	0.25						0.67	↗				0.25	0.50	↗	1.00		↘	0.33	0.33			0.25	↗	
ヘルパンギーナ																															
流行性耳下腺炎																															
川崎病																															
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*			
流行性角結膜炎	0.71	0.43	↘	1.33	0.67	↘	1.00		↘	*	*		*	*		*	*					1.00	↗			*	*				
細菌性髄膜炎		0.13	↗													*	*			1.00	↗										
無菌性髄膜炎																*	*														
マイコプラズマ肺炎	1.75	0.75	↘		1.00	↗				9.00	5.00	↘				*	*		1.00		↘	2.00		↘	1.00		↘	1.00		↘	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*														
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*														

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

・四類感染症のA型肝炎が横手保健所管内から1人、報告されました。
 ・五類感染症のカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が秋田市保健所管内から1人、梅毒が横手保健所管内から1人、百日咳が秋田市保健所管内から3人、横手保健所管内から2人、湯沢保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-2週 全国	秋田	3週 秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
	二類	急性灰白髄炎		
二類	結核	399	2	
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ			
	細菌性赤痢	2		
	腸管出血性大腸菌感染症	45		
	腸チフス	1		
バラチフス				
四類	E型肝炎	12		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	30	4	1
	エキノкокクス症			
	黄熱			
	オウム病	1		
	オムスク出血熱			
	回帰熱			
	キャサヌル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群			
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
ダニ媒介脳炎				
炭疽				

トピック

<インフルエンザの流行が拡大しています！>

第3週現在、インフルエンザの定点あたり患者数(1医療機関を1週間に受診した平均患者数)は、秋田県全体で28.06となっており、県内全域に警報、注意報が発令されています(5ページ参照)。毎年、学校等の冬休みが終わり集団生活が再開されるこの時期は、流行が一気に拡大する傾向にあります。
 また、保育園や高齢者福祉施設等の社会福祉施設からのインフルエンザ集団発生報告も多数報告されていますので(3ページ参照)、今後も注意が必要です。次の衛生ポイントを押さえて、感染予防と流行拡大の防止を心がけましょう。

(1) 咳エチケット

- ・咳やくしゃみが出るときはマスクをしましょう。とっさの咳やくしゃみはティッシュや腕の内側で受けるようにして、顔を他の人に向けないようにしましょう。
- ・咳やくしゃみを受けたティッシュはフタ付きのゴミ箱に捨てましょう。手で受けた場合は、他に触れないようにして、すぐに手をよく洗いましょう。

(2) 外出後の手洗い

- ・外出から帰宅した時は、流水と泡だてた石けんで手洗いをしましょう。付着したウイルスを手洗いで物理的に除去することにより、接触・飛沫感染を防ぐことができます。また、インフルエンザウイルスにはアルコールによる手指衛生も効果的です。

(3) 適度な湿度の保持

- ・空気が乾燥すると、気道粘膜の防御機能が低下して感染症にかかりやすくなります。加湿器などを使用して、室内を適切な湿度(50~60%)に保ちましょう。

(4) 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

- ・体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日ごろから心がけましょう。

(5) 人混みへの外出を控える

- ・高齢の方や基礎疾患のある方、乳幼児、妊婦、疲労気味・睡眠不足の方は、感染や重症化のリスクが特に高いとされています。インフルエンザの流行中は、できる限り人混みへの不要な外出を控えましょう。やむを得ず人混みに入る場合は、マスクを着用するなど、感染予防を心がけてください。

(参照)厚生労働省:インフルエンザQ&A

類型	疾患名	(人)		
		1週-2週 全国	秋田	3週 秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	16		
	デング熱	15		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱			
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症			
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症			
	マラリア	2		
野兔病				
ライム病				
リッサウイルス感染症				
リフトバレー熱				
類鼻疽				
レジオネラ症	45			
レプトスピラ症				
ロッキー山紅斑熱				
五類	アเมอร์バ赤痢	16		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	3		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	47		1
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	3		
	急性脳炎	27		
	クリプトスポリジウム症			
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	23		
	後天性免疫不全症候群	8		
	ジアルジア症			
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	23		
	侵襲性髄膜炎菌感染症	3		
	侵襲性肺炎球菌感染症	149		
	水痘(入院例に限る)	6		
	先天性風しん症候群			
	梅毒	86		1
	播種性クリプトコックス症	2		
破傷風	1			
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1			
百日咳	327	8	6	
風しん	139			
麻しん	46			
薬剤耐性アシネトバクター感染症				



2018年/2019年シーズン (2018年第36週: 9月3日～)
インフルエンザ情報

定点あたり患者数の推移(インフルエンザサーベイランス)

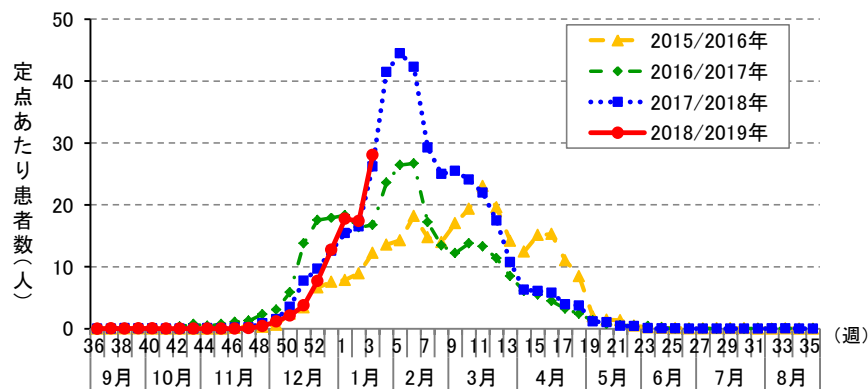


図 秋田県におけるインフルエンザ患者の発生状況

インフルエンザ入院サーベイランス

表: 2018/2019シーズン
秋田県におけるインフルエンザによる入院患者報告数

患者数 (人)			
秋田県		全国	
1/14～1/20 (3週)	累計	1/7～1/13 (2週)	累計
30	82	2,657	5,349

○入院サーベイランスの報告数は、秋田県内8か所、全国約500か所の基幹定点医療機関からの報告です。全国の報告数は公表前のため、1週間遅れの数値になります。

社会福祉施設等におけるインフルエンザ集団発生状況

インフルエンザによる集団発生が19件報告されました。

所在地	施設名称	報告日	有症者数		
			利用者(園児、入院患者)	職員	計
秋田市	あさひ保育園	1/15	107 名のうち 25 名	27 名のうち 2 名	27 名
小坂町	特別養護老人ホームサンホーム大石平	1/15	49 名のうち 8 名	45 名のうち 3 名	11 名
鹿角市	尾去沢保育園	1/15	51 名のうち 18 名	19 名のうち 0 名	18 名
鹿角市	大湯リハビリ温泉病院(5B病棟)	1/15	31 名のうち 6 名	20 名のうち 9 名	15 名
八峰町	特別養護老人ホーム海光苑	1/15	49 名のうち 9 名	47 名のうち 2 名	11 名
男鹿市	船越保育園	1/15	174 名のうち 23 名	47 名のうち 0 名	23 名
男鹿市	船川保育園	1/15	114 名のうち 10 名	32 名のうち 0 名	10 名
大仙市	藤木保育園	1/15	59 名のうち 21 名	16 名のうち 0 名	21 名
横手市	金沢保育園	1/15	72 名のうち 13 名	19 名のうち 3 名	16 名
湯沢市	湯沢保育園	1/15	124 名のうち 21 名	33 名のうち 3 名	24 名
秋田市	し～な保育園	1/16	19 名のうち 9 名	9 名のうち 4 名	13 名
鹿角市	毛馬内保育園	1/16	125 名のうち 16 名	34 名のうち 2 名	18 名
大館市	大館ホテヤこども園	1/16	180 名のうち 11 名	52 名のうち 0 名	11 名
能代市	さかき保育園	1/16	65 名のうち 8 名	24 名のうち 3 名	11 名
鹿角市	花輪さくら保育園	1/17	177 名のうち 10 名	46 名のうち 0 名	10 名
能代市	さんさん保育園	1/17	84 名のうち 9 名	27 名のうち 1 名	10 名
由利本荘市	ひかり保育園	1/17	113 名のうち 10 名	25 名のうち 0 名	10 名
鹿角市	大湯保育園	1/18	53 名のうち 10 名	16 名のうち 0 名	10 名
鹿角市	わかば保育園	1/18	51 名のうち 9 名	22 名のうち 1 名	10 名

○今シーズンの報告状況

累計施設数 39: 社会福祉施設 9、保育所・幼稚園 26、病院 4
<参考>

○昨シーズンの報告数

累計施設数 170: 社会福祉施設 44、保育所・幼稚園 119、病院 7

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。



感染性胃腸炎情報

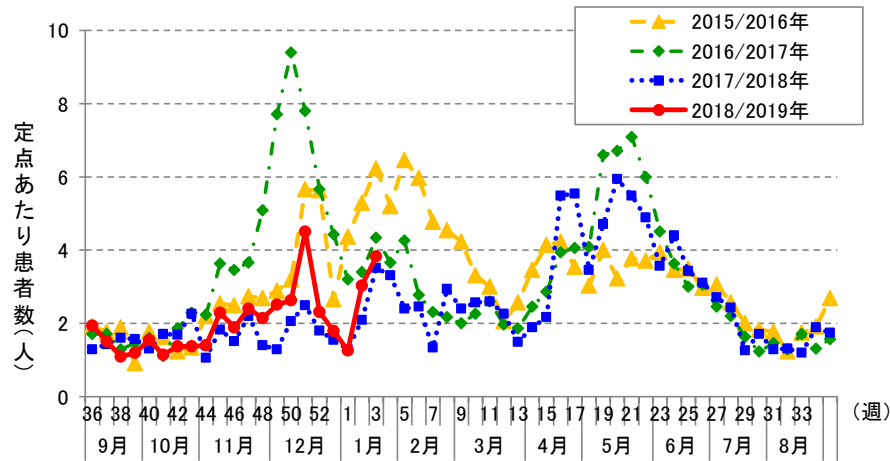


図: 秋田県における感染性胃腸炎の発生状況

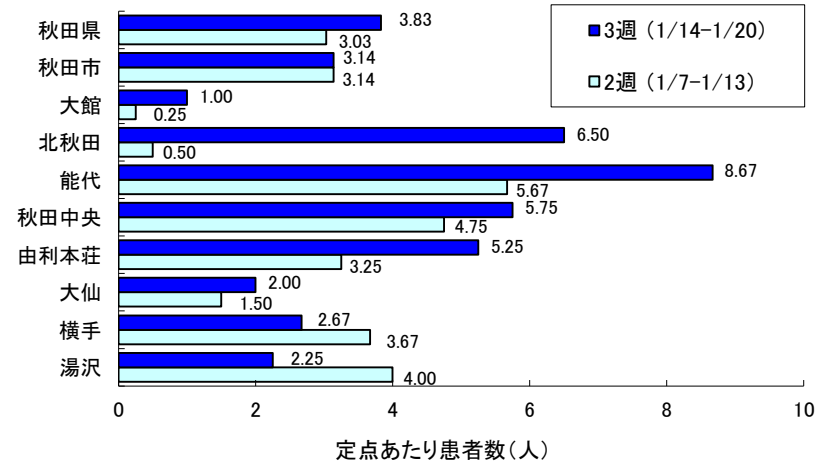


図: 秋田県各保健所における感染性胃腸炎の発生状況

社会福祉施設等における感染性胃腸炎の集団発生について

感染性胃腸炎の集団発生報告はありませんでした。

【感染性胃腸炎の集団発生状況】

- 平成30年度 35施設 有症者519名
社会福祉施設 1、保育所・幼稚園33、病院1
<参考>
- 平成29年度 42施設 有症者637名
社会福祉施設8、保育所・幼稚園34

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

感染症の集団発生報告

ヒトメタニューモウイルス感染症の集団発生報告が1件ありました。

所在地	施設名称	報告日	有症者数			把握期間
			利用者(園児、入院患者)	職員	計	
羽後町	にしもないこども園	1/18	210 名のうち 12 名	45 名のうち 0 名	12 名	1/8 ~ 1/18



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
インフルエンザ	北秋田(19.00)、秋田中央(25.33)、 由利本荘(27.00)、大仙(21.00)、 横手(24.00)、湯沢(17.60)	秋田市(37.73)、大館(35.14)、 能代(32.00)
伝染性紅斑	-	大館(6.75)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報	警報		対象疾患	注意報	警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		